

2012（平成24）年度

梅光学院大学 社会人特別選抜3年次編入学生募集要項

梅光学院大学入試課
〒750-8511 下関市向洋町1丁目1番1号
電話（083）227-1010
FAX（083）227-1017

1 募集人員

文学部／日本文学科3年
国際言語文化学部／英語英文学科3年、東アジア言語文化学科3年
子ども学部／子ども未来学科3年

} 若干名

2 出願資格

2012（平成24）年3月31日までに満27歳に達するか、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者又は退学した者（大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者）
- (3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
- (4) その他相当の年齢に達し、短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- (5) 外国人留学生又は日本語が第2言語である場合は、「日本語能力試験」で「N1」を取得した者、又はこれに相当する日本語能力を有する者

3 出願期間

2011（平成23）年8月1日（月）～ 2012（平成24）年3月16日（金）
締切日は、面接予定日の5日前（必着）

4 出願手続

志願者は、出願期間中に下記の出願書類等を提出すること。

(1) 出願書類等

書類はペン又はボールペン（黒）で記入し、該当する箇所は○印をすること。

a 入学志願票

本学所定の用紙に必要事項を記入し（面接予定日を必ず記入のこと）、所定の位置に3か月以内に撮影した写真2枚を貼付すること。

入学志願票・整理票・受験票は切り離さないこと。

b 出身短期大学・高等専門学校・専修学校又は大学の卒業・修了証明書あるいは大学2年次以上の在学を証明するもの（厳封したもの）

- c 出身短期大学・高等専門学校・専修学校・大学（最終在学年次まで）の修得単位数を記入した成績証明書（厳封したもの、卒業・修了後年数を経て出身校で発行できない場合は免除する）
- d 本学志望の理由、将来の展望等を400字詰原稿用紙2枚にまとめたもの
- e 英語英文学科の志願者のうち「TOEFL」「TOEIC」の受験をした者は、その成績通知書の写し
- f 可否通知用宛名シール
郵便番号・住所・氏名を明記すること。
- g 検定料 25,000円（郵便振替払込受付証明書）
- h 受験票返送用封筒
350円切手を貼付し、郵便番号・住所・氏名を明記すること。

(2) 出願方法

- a 上記出願書類等 a～h を本学所定の封筒に入れ、必ず簡易書留で郵送すること。
- b 検定料は本学所定の郵便振替払込用紙を使用して、郵便局又は銀行で払い込み、受付印のある郵便振替払込受付証明書を入学志願票の裏面に貼付すること。

5 願書送付先

〒750-8511 下関市向洋町1丁目1-1 梅光学院大学入試課
TEL (083) 227-1010

6 面接日

随時（面接の日は入試課と相談すること）

（注）英語英文学科は面接において英語の力を問う。

東アジア言語文化学科は面接において中国語又は韓国語の力を問う。

7 面接場

本学（4・5ページの位置図を参照のこと）

8 合格発表

面接日5日後までに、可否の結果を本人に速達郵便で通知する。

9 入学手続期間（締切日消印・受付印有効）

◇1 次入学手続（入学届提出）

合格発表日より1週間後まで〔最終4月2日（月）〕

◇2 次入学手続（学費等納入）

1次入学手続締切日より30日後まで〔最終4月2日（月）〕

入学届及び学費等の納入の手続が期間内に完了しない場合は、入学資格を失うものとする。入学届は、他の書類と一緒に所定の封筒に入れ郵送すること。

10 学 費

2012（平成24）年度 社会人3年次編入学生

（単位 円）

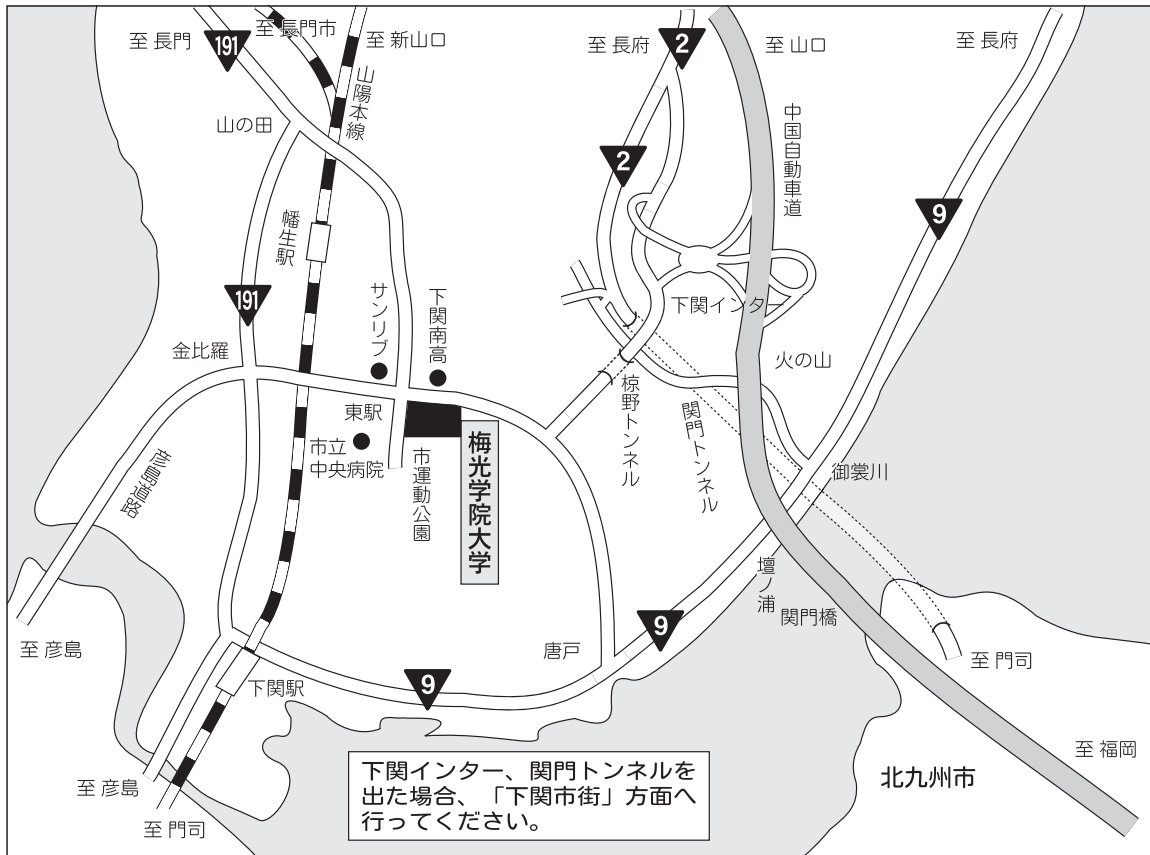
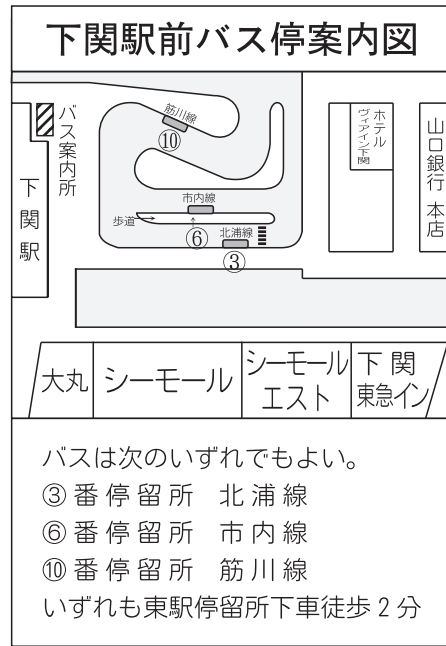
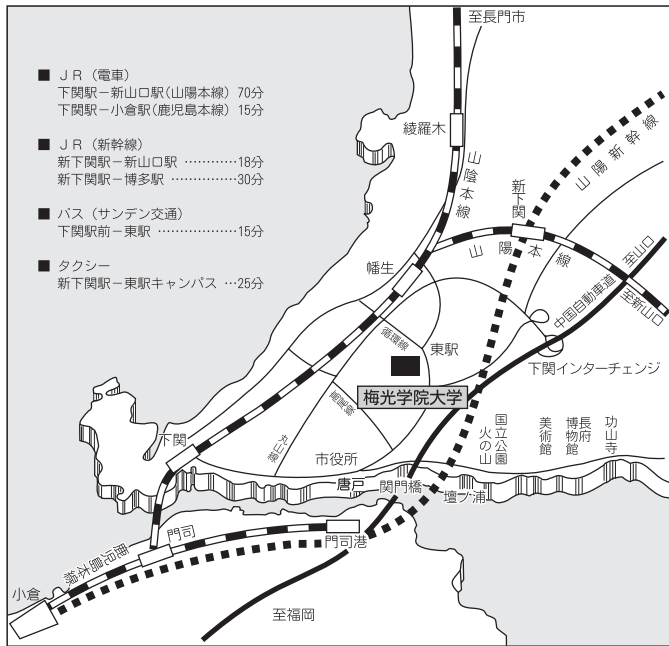
		第 3 年 次 納 入 金
学 生 納 付 金	授 業 料	620,000
	教 育 充 実 費	250,000
	施 設 費	83,000
委 託 徴 収 金		27,580
合 計		980,580

- 〔注〕 (1) 学費については諸事情により多少変更することがある。
(2) 経済状況等の理由がある場合、申し出により分割納入を認めることもある。

11 特 典

- (1) 編入学して学びたい日本文学科、英語英文学科、東アジア言語文化学科、子ども未来学科とは異なる専門分野の短期大学等の出身者でも受験できる。
ただし、教員免許状（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）について、二種を取得していない場合は、2年間で一種を取得することはできないので注意すること。
- (2) 社会人としての活動と学習との両立を支援するために経済面でも配慮する。入学金を免除し、すべての入学者に奨学金（年額40万円）を給付する。
- (3) 修学年限は弾力的に運用する。通常の2年の他に、3年、4年をかけて卒業に必要な単位を取ることができる。その場合でも在学している間は毎年同額の奨学金を給付する。

梅光学院大学の校舎位置図



梅光学院大学の校舎配置図

